

科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	法と政治（現代社会と洗脳）					学期	曜日	校時
英語名	Law and Politics (Society and Brainwashing)							
担当 教員名	安部 俊二	単位数	2単位	必修 選択	選 択	後期	水曜日	3校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>「洗脳」と「犯罪と人権」の2部構成である。</p> <p>1では、洗脳をオウム真理教事件などに限定することなく「密室的状況を利用しての強制的思考転換」としてとらえると、多くの現代政治社会現象は「洗脳」的性格を帯びたものとして理解し得る。ドキュメンタリー映像を テキスト に現代社会と洗脳の問題を考えてみたい。</p> <p>では、犯罪と人権について、犯罪被害者・被害者支援・冤罪被害・犯罪報道・刑罰と矯正教育・死刑制度さらには裁判員制度などの具体的な問題の現状から学びたい。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
<p>高沢皓司『宿命 - 「よど」号亡命者たちの秘密工作 - 』（新潮社・1998年）</p> <p>野田正彰『紊乱のロシア』（小学館・1999年）</p> <p>米本和広『洗脳の楽園 - ヤマギシ会という悲劇 - 』（宝島社・1999年）</p> <p>浜田寿美男『自白の心理学』『自白の研究』</p> <p>西日本新聞社社会部「犯罪被害者」取材班『犯罪被害者の人権を考える』（西日本新聞社・2000年）</p> <p>小林道雄『冤罪 のつくり方』（講談社文庫）</p>								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 員 研 究 室		
全 学 部	映像作品の分析(「每レポ」)、課題レポート(「大レポ」)、定期試験(「大テスト」)を総合的に判断して評価する。							
授 業 計 画								
<p>・ 現代社会と洗脳</p> <p>0. 脳の基礎理論</p> <p>1. アメリカ海兵隊の新兵教育</p> <p>2. ギリシャ憲兵教育</p> <p>3. 旧ソ連特殊精神病院</p> <p>4. 中国「労働改造」</p> <p>5. 北朝鮮「政治犯」収容所</p> <p>6. チリ・ピノチェト独裁政権下の拷問の実態</p> <p>7. 自己改造セミナー・伊勢修養団・企業研修・悪徳商法</p> <p>8. ヤマギシ会 カルトの子どもたち -</p> <p>・ 犯罪と人権</p> <p>1. 犯罪被害</p> <p>2. 被害者支援・「修復的司法」</p> <p>3. 冤罪被害</p> <p>4. 犯罪報道 - 真実と人権 -</p> <p>5. 刑罰と矯正教育・死刑制度</p> <p>6. 裁判員制度</p>								
<p>オフィスアワー（質問受付時間）：水曜日 15時から 16時まで</p>								